

1 学習に取り組んでいる主な分野

<input type="checkbox"/> 生物多様性	<input type="checkbox"/> 海洋	<input checked="" type="checkbox"/> 防災・減災	<input type="checkbox"/> 気候変動
<input type="checkbox"/> エネルギー	<input type="checkbox"/> 環境	<input type="checkbox"/> 文化多様性	<input type="checkbox"/> 世界遺産・文化財
<input type="checkbox"/> 国際理解	<input type="checkbox"/> 平和	<input type="checkbox"/> 人権	<input type="checkbox"/> ジェンダー平等
<input type="checkbox"/> 福祉	<input checked="" type="checkbox"/> 生産と消費	<input checked="" type="checkbox"/> その他（キャリア教育）	

2 ユネスコスクールとしての活動の概要

本校は、再編校として新たな一步を歩みだした。「夢や目標にチャレンジし、未来を切り拓く生徒の育成」を教育目標に、自分の考えや思いを伝え合うことができる表現力豊かな生徒を育て、持続可能な発展に関する価値観を見出す力を身に付けることとしている。そして、ESDを「夢や目標を抱き未来を創る子どもの育成」と捉え、ESDの実践を通して、普段の学校生活や自分の将来の人生設計にも生かし、人々の役に立つような仕事をしたいと思えるような志をもった進路の実現に繋げている。



3 特徴的な活動事例の紹介

○ 防災・減災学習

1年生では、市役所の防災危機管理室の方を招き、令和2年に発生した大牟田市豪雨災害を教訓に、実際に災害に遭ったときの対応に関する体験的な学習を行った。

災害の種類や「自助・公助・共助」の三助といった防災・減災に関する基礎知識について理解を深めた。そして、その発展の場として、実際に使われる段ボールベッドや簡易テントを組み立てて、避難所の雰囲気を体験することができた。

また、グループワークでは、ハザードマップの作製や非常持ち出し袋の中身について班で考え、その後全体での交流を通して、自然災害を身近なこととして捉え、自分のこととして学習を深めた。



○ 職場体験学習(職業人に学ぶ)

2年生では、「働く」ことがどのようなことであるか学習した上で、様々な職種から4人を講師として招き、仕事の内容や厳しさ、仕事のやりがいや喜びなどについて話していただいた。

また、大牟田市内の45の事業所に分かれて、職場体験学習を2日間行った。その中で、挨拶や礼儀、社会人としての責任や人とのつながりについて考え、将来の進路実現へむけた将来の展望を考える機会にすることができた。また、「働く」ことの喜びや大切さ、苦悩、地域の現状や地域の事業所の活躍を肌で感じ、地域の素晴らしさや自分だけでなく人とのつながりの中で行動することの大切さを身につけることができた。



○ 保育体験学習

3年生では、キャリア教育の一環として、保育体験学習を行った。幼児の特性や、幼児に接する上で注意することを学習した後、年齢に合わせた保育のための遊び道具の作製や進行等を考えた。4つの保育園・幼稚園を班に分かれて訪問し、体験学習を行った。

体験学習を通して、幼児と接する中で、安全管理の大切さや、目線や姿勢、言葉遣いを注意したコミュニケーションの大切さや、相手を優しく思いやる気持ちや行動をとることの必要性と生命の尊さに改めて気づき、実感することができた。



3 今後の活動計画

これからも体験活動やゲストティーチャーを招いた活動を設定していきたい。

第1学年：防災・減災に係わる活動

- ・防災・減災学習 : GTを招いた災害を想定した学習 (SDGs3, 8, 11)
- ・地域学習 : 地域の災害ハザードマップの作製

第2学年：職場体験学習と職業人に学ぶ活動

- ・キャリア学習 : GTを招いた講話や職場訪問の学習 (SDGs8, 9, 11, 17)

第3学年：保育体験学習と進路学習

- ・保育体験学習：保育園・幼稚園を訪問した体験学習 (SDGs8, 11)
- ・進路学習：高校での授業体験学習 (SDGs4, 8, 9)